



庶民の会

林田

勉

議員

▼新庁舎建設について

Q 有明庁舎の活用規模、残存部署、職員数の計画はどのように考えているのか。

A 有明庁舎については耐震工事を終え、現在エレベーター設置の設計をしている。具体的な部署や人員は明確に決めていないが、独立して業務ができる部門の配置を考えている。

Q 建設スケジュールはどうか。

A 今後基本構想を策定し、プロポーザル方式による基本設計の業務委託、実施設計の業務委託の後、仮庁舎での業務を開始し、現庁舎の解体という手順になる。建設工事は約二年間を予定しており、平成二十八年四月から新庁舎での業務を開始したい。

Q プロポーザルで提案された案を市民に公表する考えはあるのか。

A 提案されたすべての案を事前に広報等で公表することはない。選定委員会での審査結果を各案にコメントをつけて公表するような形になると思う。

▼汚泥再生処理センター（浄化苑）建てかえについて

Q 進捗状況はどうか。

A 二十三年度に基本計画を策定し、施設の規模、処理方法、事業スケジュール等を検討した。今年度予定している基本設計で、さらに精査を行い、計画がある程度まとまった時点で市民へ説明をしたい。

Q 生成される副産物はどうなものと考えているのか。

A 堆肥化やメタン回収等の資源化への方法があり、利用方法について検討したい。

▼敬老の日入浴券の利用期間について

Q 利用期間が十日間で設定されているが、期間を延ばすことはできないか。

A 今年度も敬老の日から十日間で予定しているが、期間中の休館日を開館していただけよう市の入浴施設の管理者と協議を進めているところである。

【その他の質問項目】

◇市の保育園、小中学校で、園長、校長の裁量で子供たちに使える予備費はあるのか。



青 鞆

松坂

昌應

議員

▼庁舎建設問題

Q 諫早市は庁舎建設費四十八億円のうち四十億円を合併特例債で賄っているが、本市の基本構想案では建設費四十億円のうち十五億円を合併特例債で賄っている。特例債が認められるのは十五億円が限度なのか。

A 以前は面積要件等で特例債の借入れに限度があったが、昨年一月にその要件が廃止され、柔軟に借りられるようになっていた。しかし、し尿処理場の建設など、市全体の計画を円滑に行うためには、庁舎建設だけに特例債を投入するのはどうかと思う。建設には積立金を用意し、後年度負担をできるだけ減らそうと考えている。

Q 基本構想はいつ確定するのか。

A パブリックコメントや地区別懇談会での意見を聞きながら、構想を固めたい。

Q プロポーザル方式での設計者の選考委員会を公開の場でできないか。

A 選考委員会委員の方々の意見を聞きながら今後決めたい。

▼有明海異変問題

Q 裁判所の開門調査の判決に従おうとしていない長崎県、諫早市の態度をどう思うか。

A この問題は国と県、地元の入植された方々、諫早市民に十分理解が得られるように今後も努力をしていきたい。

Q 今年のノリの不作の原因は何なのか。

A 県の水産部によると、水温が高めに推移し降水量も多かったため、ノリが生育する前に芽が網から流れる現象が発生したことから、プランクトンの増殖により、ノリの色が薄くなる色落ち等が原因である。

Q 排水門の開門状況はどうか。

A 県によると二十三年度の排水回数、北部排水門が八十回、南部排水門が百三十四回であり、排水量は北部が二億四千万トン、南部が二億八千万トンである。

Q 二十一年度実施の大三東漁港のしゅんせつ土を利用したノリ漁場は完成したのか。

A 有明漁協の要望で、市がしゅんせつ工事を行ったが、ノリ漁場の造成は、漁協独自の事業なので、完成の確認はしていない。

【その他の質問項目】

◇市長をはじめ市役所幹部の贈答品のやり取りについて